

**Basic Concept & Status of the Global COE Program**  
From Earth System Science to  
Basic and Clinical Environmental Studies  
(地球学から基礎・臨床環境学への展開)  
(BCES-GCOE)

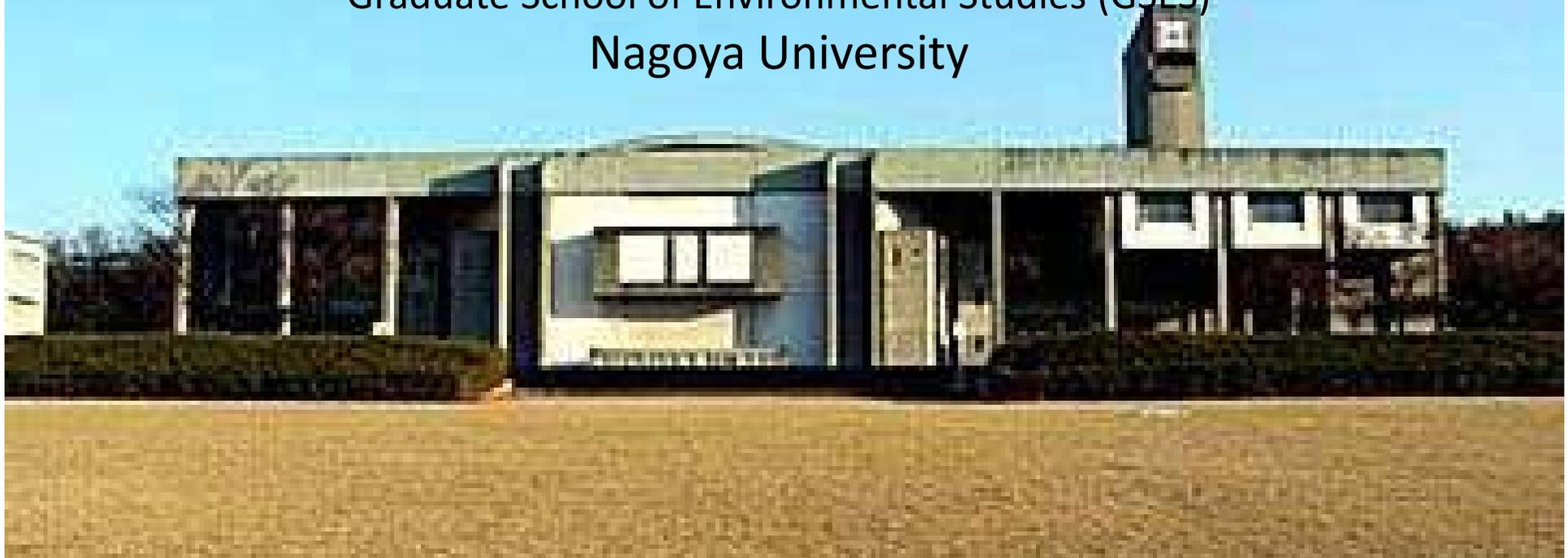
**Tetsuzo Yasunari**

Hydrospheric Atmospheric Research Center (HyARC)

**Takeshi Nakatsuka**

Graduate School of Environmental Studies (GSES)

Nagoya University





# 地球学から 基礎・臨床環境学への展開

From Earth System Science to  
Basic and Clinical Environmental Studies

## 名古屋大学大学院

環境学研究科

地球環境科学専攻

都市環境学専攻

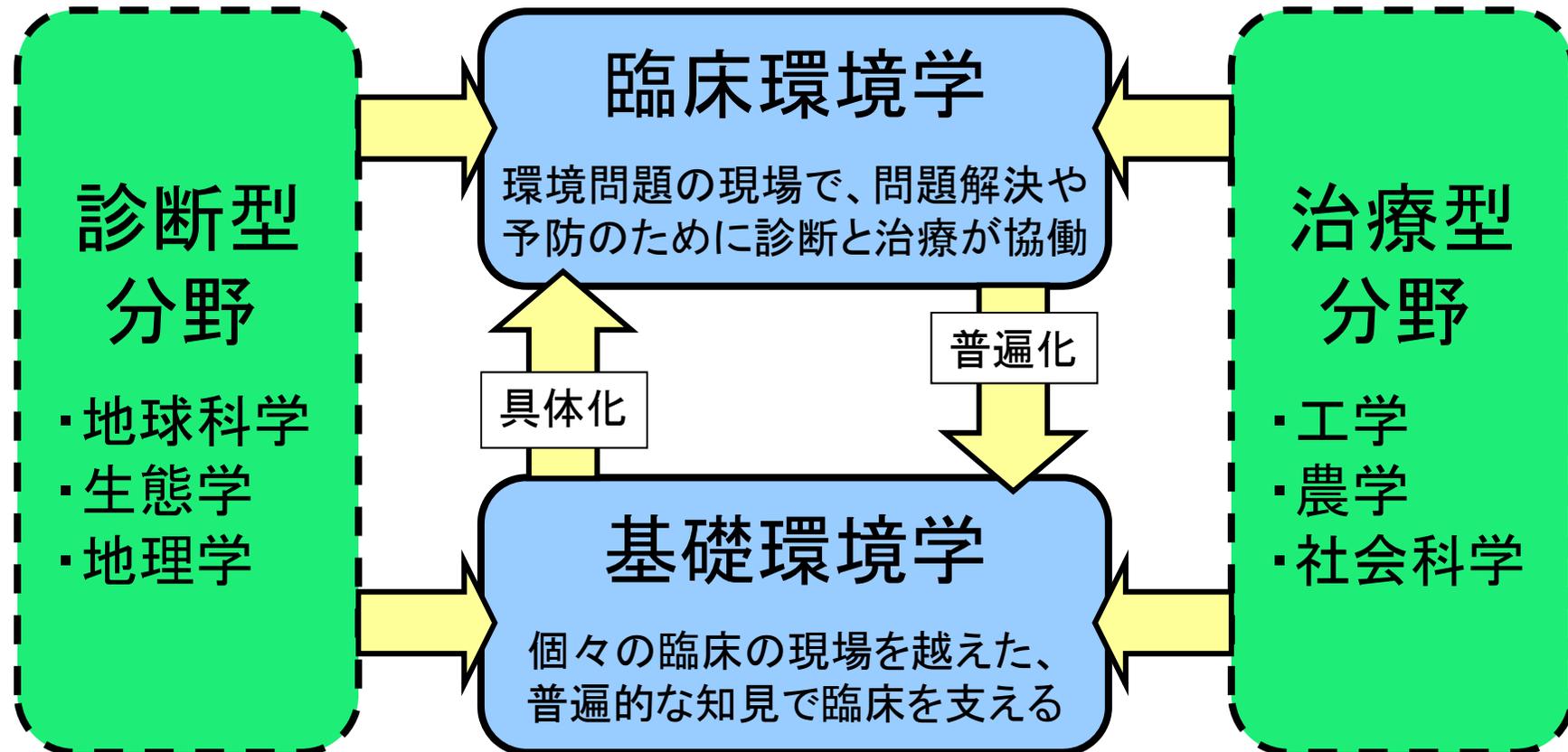
社会環境学専攻

生命農学研究科

生物圏資源学専攻

# 拠点形成の構想と目的

地域の環境問題(病気)の究明(診断)と解決(治療)には  
診断型研究と治療型研究の協働・連携が必須



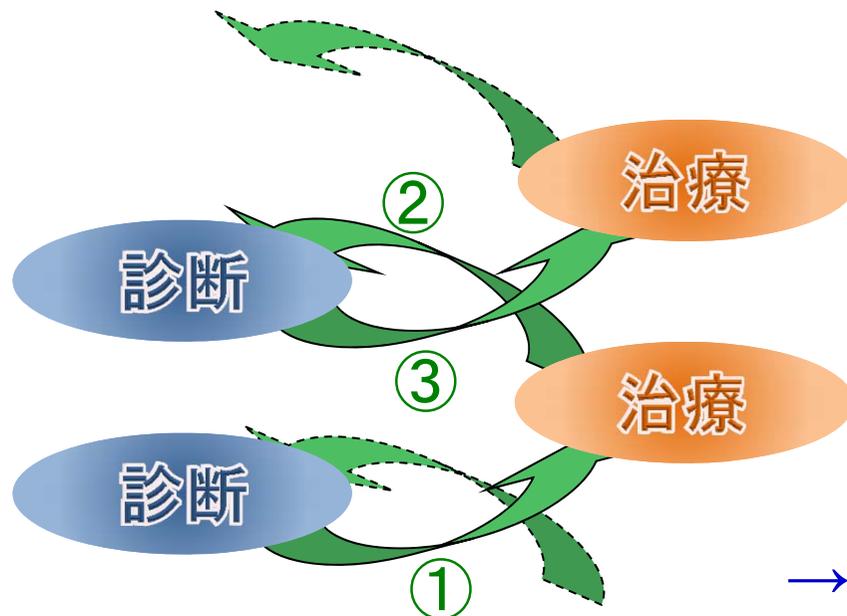
- ・短期的な対症療法ではなく、より長期的な根本的治療法の模索・提案
- ・地域の問題をグローバルな問題との連関により理解し解決する

# 「診断と治療の無限スパイラル」を俯瞰する 臨床環境学

「診断」：食糧やエネルギーなどの環境収容力の限界に対する認識

「治療」：環境に対する技術的・制度的な働きかけ

人類史とは、「診断」に対する「治療」が新たな環境収容力の劣化（環境問題）を発生させて、新たな「診断」と「治療」を必要とするという、「診断と治療の無限スパイラル」の歴史とも言える。診断と治療の相互作用の全貌を俯瞰することで、新しい環境問題の発生を未然に防ぎながら、当面する環境問題を包括的に解決していくことが、臨床環境学の目的である。

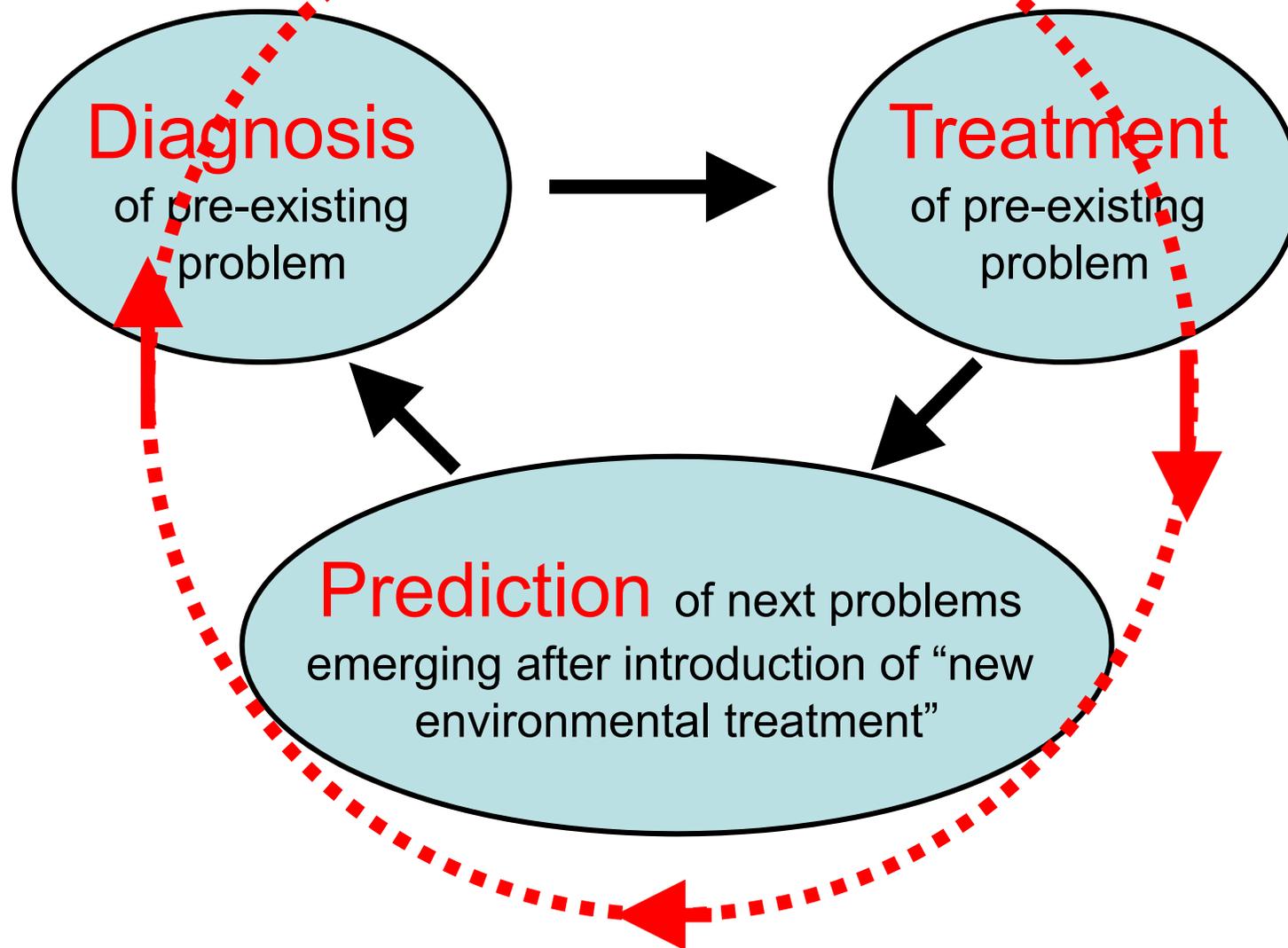


臨床環境学では、

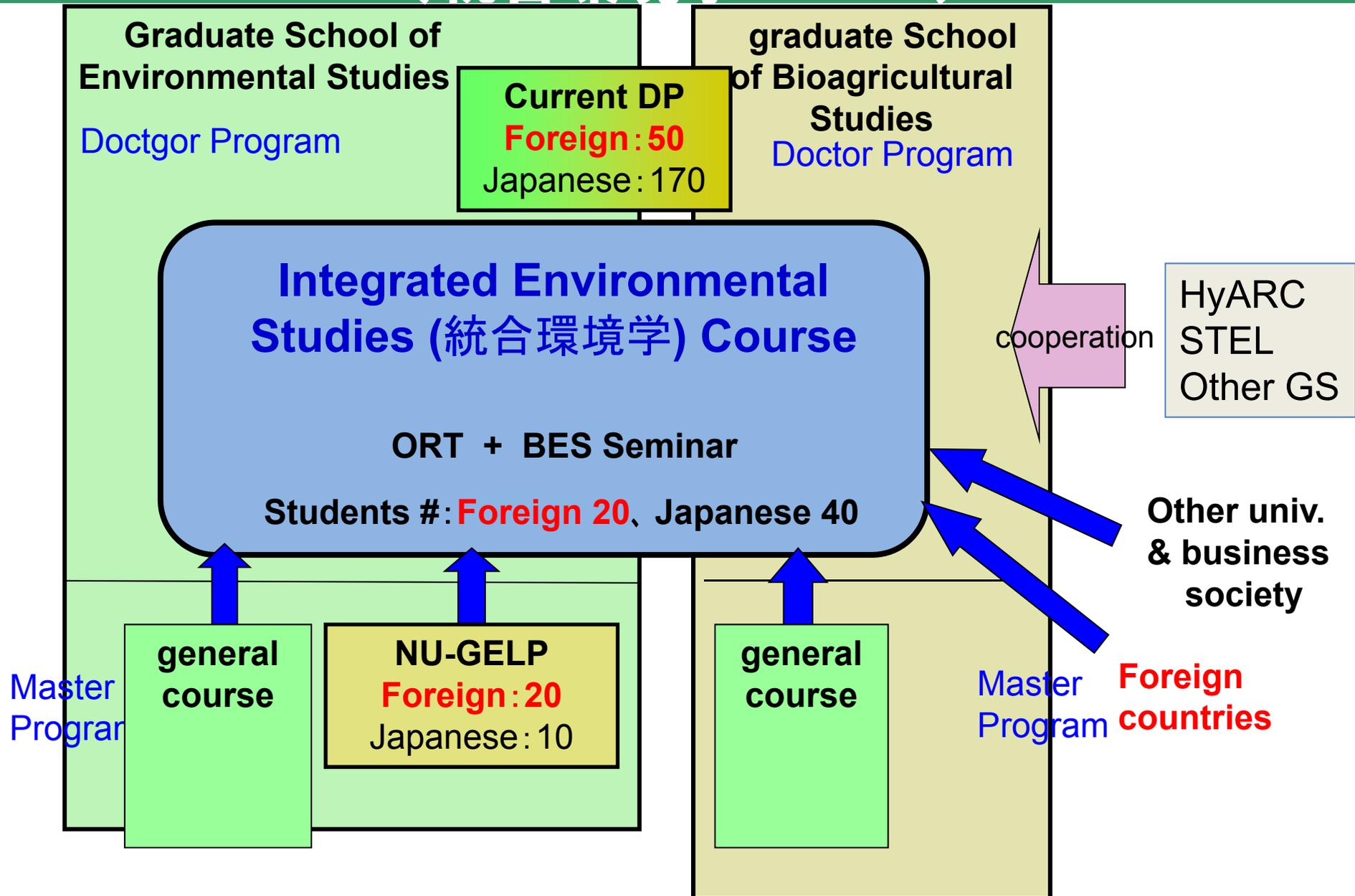
- ①「現状の診断に基づく治療」にとどまらず、
- ②「治療がもたらす新たな環境問題発生の可能性を診断」して、
- ③「より持続性の高い治療法」を、  
不断に模索していく。

→ 博士課程教育を通じた研究連携

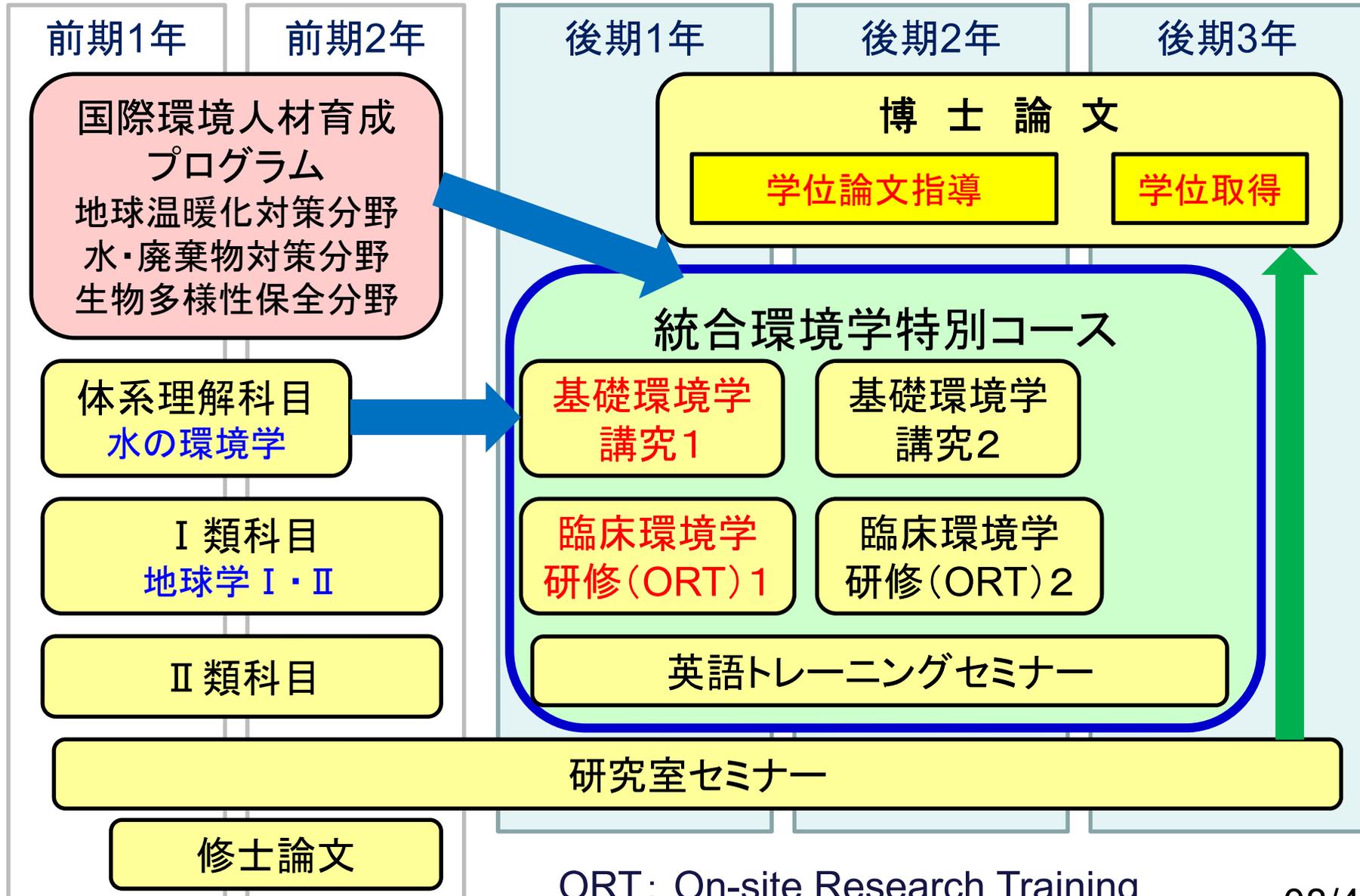
Practice of “**Hypothesis Rotation**” is necessary along Diagnosis-Treatment-Prediction Cycle for a concrete environmental problem at a clinical field.



# Integrated Environmental Studies Course (統合環境学コース)



# 統合環境学特別コースの位置づけ



ORT: On-site Research Training

# Two major pillars in special course for 統合環境学

Expertize

Perspicacity

Internationality

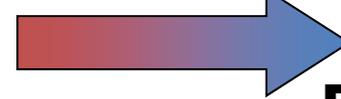
Competency

Outside the campus

In the campus

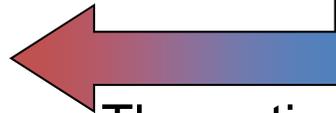
On-site Research  
Training (ORT)

Experience  
in the fields



Seminars for  
Basic Environmental  
Studies (BES)

Theoretical  
insights



Close collaboration  
between ORT & BES

**BOTH ARE MANDATORY!**

# アジアでの臨床環境学の展開



アジアでの環境研究・国際協力の豊富な実績  
→ 臨床環境学の共通フィールドを設定

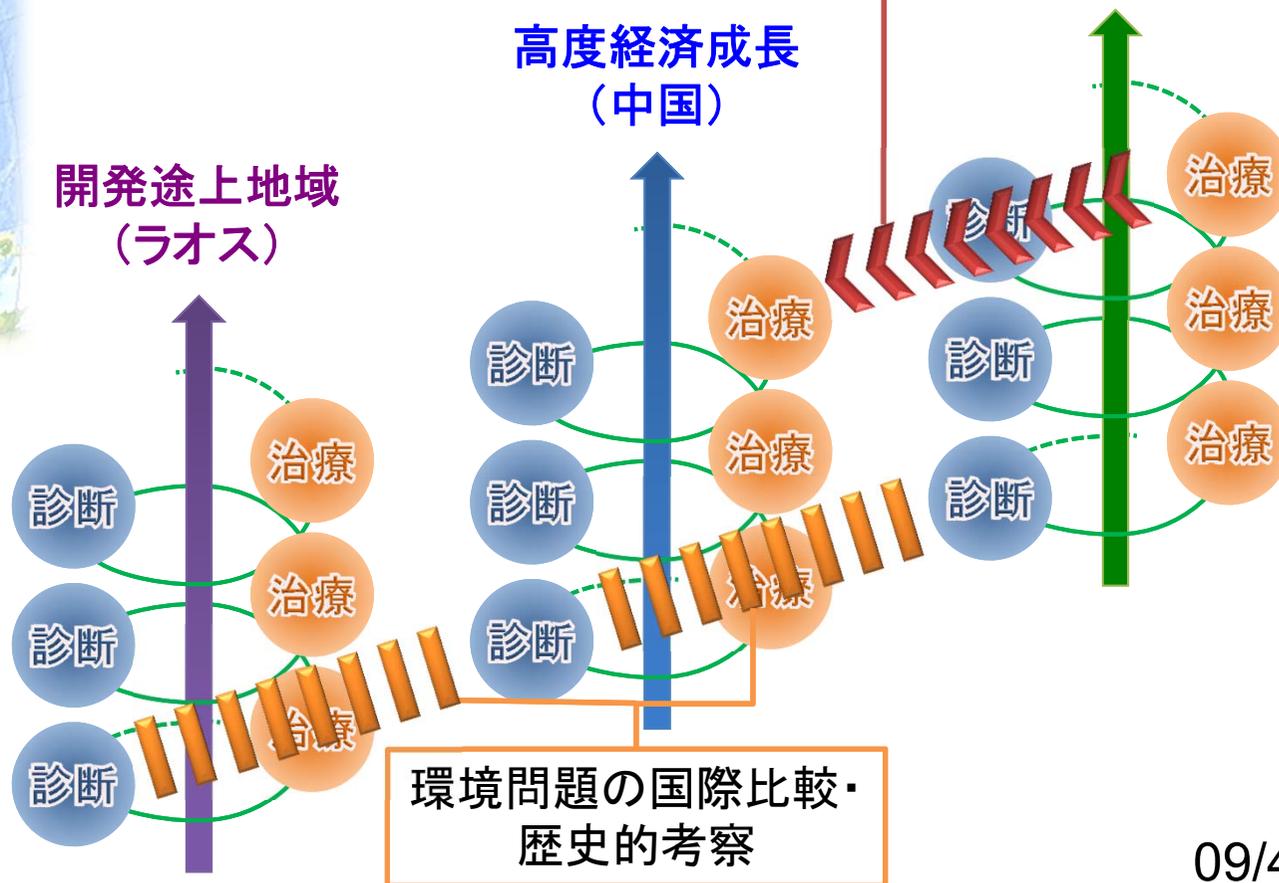
## 自然環境も経済的発展段階も異なる3エリア

技術・知識移転、leapfrog政策支援

経済成熟地域  
(伊勢湾流域圏)

高度経済成長  
(中国)

開発途上地域  
(ラオス)



# 基礎環境学の役割（2年間の講究の事例）

## ■基礎環境学とは？

臨床の現場を越えて、時間的・空間的に普遍的な環境問題の本質を理解するための取り組み。⇒臨床環境学を支えるもの。

湿地保全の  
国際比較

土地利用の  
急激な変化

経済発展と  
環境問題

合意形成と  
意思決定

環境学キャ  
リアパス

環境問題の  
近現代史



日本語と英語の教科書  
にまとめる

臨床環境学への示唆とは？

← 名古屋大学出版会 2011年出版

16/42

## 今後の課題

- **本GCOEの教育・研究成果の国際発信**  
⇒ Springer から英文叢書シリーズを電子出版として開始することを予定
- **統合環境学特別コースの発展的継続**  
⇒ 安全安心学との連携も視野に入れたリーディング大学院への申請を準備中
- **コンサルティング・ファーム活動の展開**  
⇒ いくつかの環境シンクタンクとの連携・プロジェクトマッチング開始、キャリアパス開拓に向けた基礎環境学講究の開始

**Thank you very much !**

Thank you very much !

